～欣浄寺法語メール～２０１８年６月～

「仏前結婚式ＩＮ本願寺！！」

　昨年末、津市の御住職からご子息の結婚式の司婚（導師）を勤めていただけないかとの依頼がありました。大変おめでたいこと、ありがたく承りました。当然式場は津市のお寺と思いきや、新郎新婦ともご本山にお勤めで結婚式は京都本願寺で執り行うとのこと、受話器を握った手が汗ばんできました。まさに青天の霹靂でしたが、先月なんとか大役を果たして参りました。仏前結婚式の司婚の役目は、お勤めの導師と共に法話があります。お二人の門出にお送りしたメッセージを皆さまにもお伝えします。

　『ただいま本願寺安穏殿でお二人の結婚式が執り行われました。雅楽の一つ一つの音色

に、ご臨席の皆さまの祝福の気持ちが満たされ響いていました。この響きは、今日から新しい人生を歩み出されるお二人の胸に結婚の感動と喜びとともに刻み込まれたことでしょう。その音色とともに授与された念珠には、ともに助け合い拝み合って生きていくようにという願いがこめられています。

　本年ここ本願寺で恵信尼様を偲ぶ法要が勤められました。恵信尼さまから末娘の覚信尼様へのお手紙の中で、「あなたのお父様親鸞聖人を観音菩薩の化身として心の中でお敬いしていました」とつづってみえます。苦楽をともにされた親鸞聖人と恵信尼さまが「当相敬愛　まさにお互いに敬い愛しあう」の結婚生活を送られたことがうかがえます。親鸞聖人と恵信尼さまがお互いの人生を荘厳して生

き抜かれたように、お二人がお互いを敬いお念仏を喜ばれる生活をお送りくださいますよう念じます。

　本日は、まことにおめでとうございました。』